

【宇部版】中小企業景況動向調査 調査レポート

2024年 1～3月期の景況 / 2024年 4～6月期の見通し

宇部市内における中小企業の業況は回復傾向から足踏みしている

今回調査のポイント

宇部商工会議所情報サービス部では市内中小企業(下記DATA参照)の景況動向等を把握するため、2024年1～3月期の実績と2024年4～6月期の予測を取りまとめた。本調査は、3ヶ月ごとに年4回実施する予定である。

全産業のDI値は、前期より0.2%の回復となった。業種別では、建設業は▲7.4%から▲6.9%へ、製造業は▲22.2%から15.0%へ回復した。卸売業は▲10.0%から▲15.8%へ、小売業は0.0%から▲17.6%へ、サービスは0.0%から▲10.0%へと悪化した。

今期中に新規設備投資を実施した企業は41.2%、来期設備投資を実施予定の企業は44.7%であり、今期よりも3.5%増加する見込みである。

経営上の問題点については、全産業で3期連続「従業員の確保難」が上位に挙げられた。建設業で「下請業者の確保難」、卸売業で「需要の停滞」が今期新たに挙げられた。依然として多くの業種で「人件費の増加」が上位を占めている。

DI(ディフュージョン・インデックス)とは？

DI値とは、企業の業況感や設備などの変化の方向性を示す指標。経済部門ごとの調査回答「上昇」「不変」「下降」をもとに、景気変動に関する複数の指数を合成して算出する。

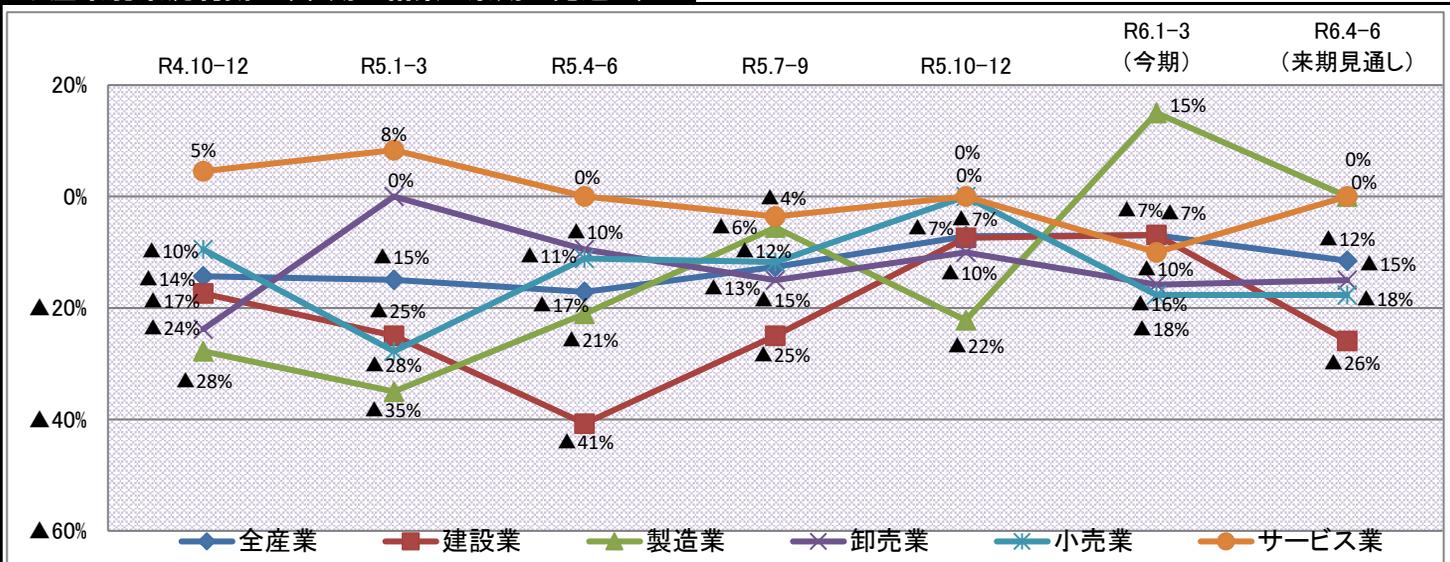
DATA

- 調査期間: 令和6年3月11日～3月22日
- 調査対象: 宇部市内の中小企業130社
- 有効回答企業数: 117社(90%)

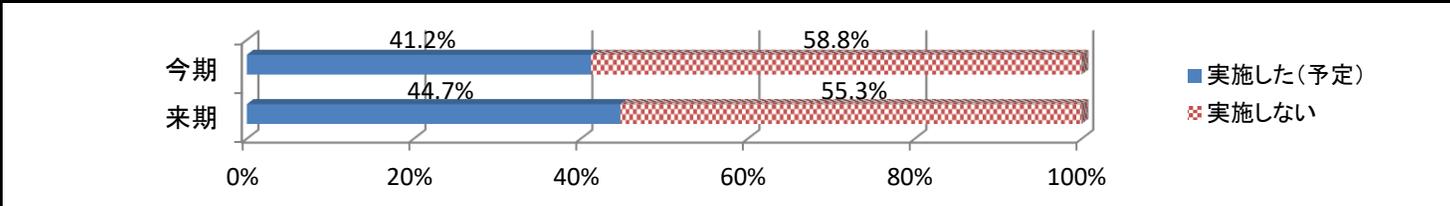
1. 業況DI値(今期の状況)

	業況	前回比	売上高	前回比	資金繰り	前回比	経常利益	前回比	従業員数	前回比
全産業	▲7.0%	0.2%	▲4.3%	▲13.0%	▲6.9%	4.5%	▲14.8%	1.7%	▲17.5%	▲9.6%
建設業	▲6.9%	0.5%	▲10.3%	▲21.1%	0.0%	14.3%	▲17.2%	▲17.2%	3.4%	7.0%
製造業	15.0%	37.2%	15.0%	5.0%	5.0%	15.0%	10.0%	45.0%	▲30.0%	▲15.0%
卸売業	▲15.8%	▲5.8%	▲30.0%	▲35.0%	0.0%	0.0%	▲15.0%	0.0%	▲20.0%	▲30.0%
小売業	▲17.6%	▲17.6%	▲5.9%	▲0.3%	▲17.6%	▲1.0%	▲29.4%	▲1.6%	▲13.3%	4.3%
サービス業	▲10.0%	▲10.0%	6.7%	▲10.6%	▲20.0%	▲5.7%	▲20.7%	▲6.9%	▲30.0%	▲15.7%

2. 産業別業況判断DI(今期の結果と来期の見通し)



3. 新規設備投資(今期実施・来期計画)



4. 経営上の問題点

	建設業	製造業	卸売業	小売業	サービス業
1位	従業員の確保難 19.0%	原材料価格の上昇 19.3%	従業員の確保難 18.4%	仕入単価の上昇 18.2%	利用者ニーズの変化への対応 16.5%
2位	材料価格の上昇 15.5%	需要の停滞 19.3%	人件費の増加 12.2%	消費者ニーズの変化への対応 13.6%	従業員の確保難 15.3%
3位	熟練技術者の確保難 13.1%	従業員の確保難 12.3%	仕入単価の上昇 12.2%	人件費の増加 13.6%	人件費の増加 14.1%
4位	下請業者の確保難 9.5%	生産設備の不足・老朽化 10.5%	需要の停滞 12.2%	従業員の確保難 13.6%	人件費以外の費用の増加 12.9%